学校番号	T3036

令和８年度　学教養科

教科	学教養	科目	(学)ハンドクラフトＡ	単位数	１単位	年次	１～４年次
使用教科書	なし						
副教材等	担当者作成プリント						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

現在、ほとんどの人は衣服を店で買っていると思います。では、その衣服はどのようにしてできあがっているのかを考えたことはあるでしょうか。衣服は、糸、染料といった材料、加工するための織機などが必要で、それらを使って、完成させるという大変な工程で作られています。

この講座では身の回りにあるものを使って衣服を自らの手で完成させるので大変ですが、達成感、喜びを感じることができると思います。楽しんで臨みましょう。

２　学習の到達目標

(1)織機の原理や簡易な織機の作り方の知識を身に付ける。
(2)身近な材料から、作品を作ることができる。
(3)織機や染めに関心を持ち、積極的に作品作りに取り組むことができる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	織機の原理と簡単な織機の作り方、および身近な植物を使った染めの方法を理解し、作品を完成することができる。	意図に応じて材料や用具の特性を生かし、作品を表現しようとする。	身近なものを作ることに対する関心をもち、製作を楽しむ中で、自主的に学び、向上しようとする。

上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、C の３段階）にまとめます。また、学年末に観点別学習状況の評価（A、B、C の３段階）及び評定（１～５の５段階）にまとめます。

4　学習の活動

月	単元・学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
4月	機の仕組み さをり機を使う	a: 機の仕組みについて学び、理解している。 c:関心をもって、さをり機体験に臨んでいる。	授業観察 ワークシート		授業観察 ワークシート
5～8月	【第1作品の制作:コースター】 コースター用の整経 機掛け ソウコウを使わぬ制織 端の始末と作品仕上げ	a：整経、機掛け、制織の方法について学び、身につけている。 b:作品の中に自分の意図を表現しようとしている。 c: 織りによるコースターの作成に関心をもち、自主的に学び、向上しようとしている。	授業観察 ワークシート 作品	授業観察 作品 プレゼンテーション	授業観察 作品 振り返りシート
9～12月	【第2作品制作:マフラー】 マフラー用の整経 機掛け 糸染め 制織 端の始末と作品仕上げ	a：整経、機掛け、糸染め、制織の方法について学び、身につけている。 b:作品の中に自分の意図を表現しようとしている。 c: 織りによるマフラーの作成に関心をもち、自主的に学び、向上しようとしている。	授業観察 ワークシート 作品	授業観察 作品 プレゼンテーション	授業観察 作品 振り返りシート
1～3月	自由制作	a：整経、機掛け、糸染め、制織の技能を身につけている。 b:作品の中に自分の意図を表現しようとしている。 c:関心をもって、制作するものを自身で選び、その作成を楽しむ中で、自主的に学び、向上しようとする。	作品	作品 プレゼンテーション	授業観察 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度